

Jackson Koon Yat Lee was awarded the **JALT Award for Early Career Excellence (JALT アーリー・キャリア優秀賞)** in November of 2022. This is a copy of the nomination letter:

私はジャクソン・クーン・イエッツ・リーをアーリーキャリア優秀賞に推薦します。

理由はいくつかありますが、最も大きなものとしては、彼のメンターとしての活躍です。彼からのアドバイスやサポートのおかげで現在活躍している人を何人か知っていますが、私自身もその一人です。3年前、私は岐阜大学の学生、ジャクソンは同大学の教員で、私が学部4年で大学教員を志したときに最初に相談をしに行ったのが彼でした。直属の教員ではなかったにも関わらず、彼は親身に私の話を聞き、大学で勤務するためのステップについて丁寧に教えてくれました。その一つが、当時彼が支部長を務めていた岐阜 JALT への役員としての参加であり、私のキャリアはそこから始まりました。その後も学生発表の機会をもらい、出版物の重要性を教えてもらい、そして他の学会についても教えてもらったことで、私にとって大学教員を目指す上で必要だった基盤の部分が、少しずつ出来上がっていきました。当時私は授業外でプレゼンテーションを、まして英語でした経験などなく、右も左も分からない中で、彼は実際に私の発表練習を見て具体的なアドバイスをくれました。また、私に岐阜 JALT での発表機会を与えてくれたように、ジャクソンは現在の勤務先である東洋大学の学生にも積極的に JALT のイベントを紹介しています。その中には実際に何回か発表した学生もいます。私も岐阜支部内外で彼女の発表を聞きましたが、聴衆の心を大きく打つもので、発表後の質問やコメントが止まらない様子でした。私自身そして彼女の様子からも、ジャクソンが学校外でも学生に親身に対応していることがよく分かります。特に、当時学部生だった私にとって JALT をはじめ学会というものは敷居の高い場であり、あまり居心地の良い場所ではありませんでした。そんな中、彼の頼れる「お兄さん」のような存在は大きなものでした。2022 年 10 月現在、私は JALT 内で 4 つの役割 (SPINS Chair, PanSIG Committee member, Gifu JALT Membership & Treasurer) をいただいています。どれも彼の存在がなければ得ることはなかったものです。ちなみに 2023 年 1 月現在、私は JALT 内で 5 つの役職 (SPINS Chair, Gifu Chapter Treasurer, PanSIG Committee member, JALT2023 Japanese translator, and JALTCALL2023 Japanese advisor) をいただいています。

彼の活躍は上記にとどまりません。岐阜支部では広報担当を経験した後、支部長として岐阜チームを牽引しました。彼のリーダーシップは何より人柄から表れるもので、彼が支部長を務めていた間は、コロナ前もコロナ後も、ずっと雰囲気の良いチームでした。それは彼のイベントでの振る舞いからも明らかで、彼はオープニングで必ず、発表者の要旨や略歴に素敵な一言を付け加えて紹介していたのが印象的でした。発表者と参加者、両方にとって居心地の良い支部であったと思います。そのせいもあってか、岐阜支部はコロナ禍を経て現在会員数 27 人ほどですが、ジャクソンが支部長を務めていた当時、会員数 40 人を超えていたのを覚えています。加えて先日(2022 年 10 月)の岐阜支部、名古屋支部、豊橋支部合同イベントの October Grand Forum では、東京から参加した彼と談笑する名古屋支部長、豊橋支部長の様子に驚きました。私は彼が EBM やイベントを通して近隣支部と良好な関係を築いてくれていたことを知

り、今年度多くの合同イベントを開催できているのは彼が支部長当時作り上げた基盤があったからなのだと実感しました。DEI Committee Chair としても、全国区のより大きなチームを率いながら、多くの native-speakerism, gender, ALTs in Japan などに関する発表をしていました。私もそのいくつかを聞きましたが、香港出身のカナダ人が日本で ALT の仕事をするものの苦悩について告白していたものは特に衝撃的で、聴衆は聞き入り、本当の意味で「学ぶ」機会を与えたものでした。そんな去年の彼の発表数は目を見張るものがあり、2021 年に 18 回、今年 2022 年も 8 回という回数を誇ります。彼の努力は出版物にも及び、今年は The Language Teacher で多様性に関するもの、JALT 予稿集でジェンダーに関して、PanSIG Journal で母語話者主義について、そして Candlin and Mynard ePublishing にて今年出版予定の共著本内では 2 章を執筆しました。

以上の通り、彼の多方面での活躍は目覚ましいもので、ALT としてキャリアを始めて以来、絶えず努力と進化を続けているのは明白です。そんな彼を、私は自信を持ってアーリー・キャリア・アワードに推薦します。